諸室仕様リスト

【別紙07】

部　門	階	室　名	室の使い方等	特記事項	室数	面積㎡/室程度	天井高（m）以上	建築					電気				機械				備考
								床下地	床仕上	天井仕上	壁仕上	流台	照度LX	電話	TV	LAN	空調	給水	給湯	洗面台	
貸室	1	展示室	【想定利用用途】 ・展示会，見本市，企業個展 ・大規模学会等における展示 ・ポスターセッション会場 ・レセプション会場 ・分科会会場 ・コンサート，ショー等のイベント　など	・建物１階に設置し，長方形かつ整形で，２分割利用も考慮した形状とし，多目的な利用に対応できる展示室とすること （パーテーション等にて２分割(約 2,500㎡)しての利用も想定している） ・施設の中心に配置し，他の諸室との連携に配慮すること ・自由な展示レイアウトが可能となるよう，無柱空間とすること ・来場者のアプローチは１階からとすること ・展示室内への搬出入車両動線は，東側から西側及び西側から東側への退出の一方通行を基本とし，東西側をメイン，南側をサブの出入口として計画すること ・展示室内には外光の入射がないようにすること ・閉室時において外部から通線口（配管やケーブル等）を各搬入口付近に設けること ・床荷重５ｔ/㎡以上とすること ・吊フック（１～３ｔ程度：100箇所程度）は荷重が偏らないようにバランスよく設け，吊荷重管理システムを導入すること （管理は防災センターで行えるようにすること） ・床ピット（幅600×深さ900程度）は，室内の長辺方向に都市ガス・給排水・圧縮空気用ピットと電気用ピット（分電盤横にコンセント、臨時電話回線端子盤、ＬＡＮジャックを設けること）を交互に約６ｍ間隔で設け，その起点として，展示室のセンターに都市ガス・給排水・圧縮空気用ピットを設けること ・床ピット内の分電盤容量は，200V(動力)125A.100V200Aを1セットとし，25ヶ所以上を均等に配置すること。 ・室内の短辺方向には等間隔に３本以上のサブピット（幅300×深さ100程度）を設けること ・吊りもの用バトン(W18000程度，吊荷重500kg程度）は，ホワイエから展示室内に入った正面に等間隔で３本，その両サイド面センターに各１本ずつ設けること ・照明の照度は任意の範囲で任意の照度に調光でき，かつ，変更後のパターンを登録し、一括で管理ができるシステムを防災センター内に設けること ・アリーナ内で使用する音響はパッチ盤を通して各控室・ホワイエに拡声できる設備を設けること	1	5000㎡以上 壁厚や柱型などを除いた有効面積	15.0（梁下有効高さ）	C	防塵塗料（※１）	なし	提案	―	700	―	○	○	○	○	―	―	
	1	ホワイエ	・来場者の客溜まり ・催事の際の受付 ・エントランス など	・可能な限り広いスペースを確保すること。 ・全部若しくは一部吹抜けとし、明るく開放感のある高質な空間となるよう配慮すること ・外部との出入口は風除室を設けること ・外部建具は耐久性等を考慮し，ステンレス製とすること ・上部に１か所吊りもの用のバトン（W18000程度，吊荷重250kg程度）を設置すること （催事の看板等の設置を想定しているため，展示室側に設けること） ・ＬＡＮジャックの位置は仮設受付などの利用を想定し，数パターン想定のうえ，床・壁などに適宜設けること ・コンセントは，壁の他に床にも設けること（100V,20A,合計20カ所以上）	―	800～900	提案	提案	提案	提案	提案	―	500	○	○	○	○	―	―	―	
	1	休憩コーナー	来場者用休憩スペース	・来場者数を考慮し，ホワイエ内にまとまったスペースを設けること	―	―	提案	C	KT	提案	提案	―	300	―	―	―	○	―	―	―	
	1	ロッカーコーナー	来場者用	・ホワイエ内に設けること	1	-	2.6	提案	提案	提案	提案	―	200	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
	1	主催者控室	主催者用詰所	・ホワイエに近接した位置とし，室内から展示室内及びホワイエの状況が直接確認できる窓等を設けること （当該窓等にはカーテンやブラインド等の目隠しを設けること） ・展示室及びホワイエ側に出入口を設けること ・室内に液晶テレビモニター（※２）を設けること ・館内音響設備（マイク，有線・ＣＤの再生も対応可能とすること）を設けること ・展示室内の照明調光が可能な設備を設けること ・臨時回線用の電話ジャックを設けること ・コピー機の設置スペースを確保すること	1	60	提案	C	VT	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	○	○	○	
	1	控室（大）	主催サポートメンバー（施工・運営会社等)用詰所	・移動間仕切りにより２分割できるようにすること ・室内に液晶テレビモニター（※２）を設けること ・来場者の動線と交錯しないよう配慮すること ・臨時回線用の電話ジャックを設けること ・主催者控室と離れた位置とすることも可能とする	1	100	提案	C	VT	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	

諸室仕様リスト

部　門	階	室　名	室の使い方等	特記事項	室数	面積 ㎡/室 程度	天井高 （m） 以上	建築					電気				機械				備考
								床下地	床仕上	天井 仕上	壁 仕上	流台	照度 LX	電話	TV	LAN	空調	給水	給湯	洗面 台	
貸室	1	控室（小）	主催サポートメンバー （施工・運営会社等）用詰所	・４室のうち２室は主催者控室に近接した場所に設け，さらにそのうち１室は，移動間仕切りにより２分割できるようにすること ・残りの２室は主催者控室に近接しないことも可とするが，来場者の動線と交錯しないよう配慮すること（２室とも，移動間仕切りによりそれぞれ２分割できるようにすること） ・各控室内に液晶テレビモニター（※２）を設けること ・臨時回線用の電話ジャックを設けること	4	40	提案	C	VT	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	
	1	控室 （ＶＩＰ）	ＶＩＰ用詰所	・ＶＩＰの利用に配慮した，格式の高い仕様とすること ・主催者控室に隣接した場所に設けること ・来場者の動線上には設けないこと ・室内に液晶テレビモニター（※２）を設けること ・室内にトイレ・シャワーを設けること ・トイレ内にはエアータオルを設けること ・クローゼットを設けること	1	40	提案	C	TC	DR	CC	提案	500	○	○	○	○	○	○	○	
	2	会議室	・会議及びセミナー会場 ・大規模会議等の分科会会場 ・展示会時の商談スペース など	・設置位置はホワイエ側とし，ホワイエからの動線を考慮すること ・移動間仕切り（遮音性能D=50以上）を設置し、２分割での利用に対応すること ・室の形状は、分割時の使い勝手にも配慮すること ・各控室内に液晶テレビモニター（※２）を設けること ・室内にマイクパッチ盤を設け，それに対応したスピーカーを天井に設けること ・来場者数を考慮し，部屋の出入口付近にまとまったスペースを確保すること ・照明は調光が可能なものとすること ・スクリーンの前に美術バトン（W6000程度）を設けること ・スクリーン及びバトンは，分割時にそれぞれの部屋で利用できる位置に設置すること。また，一体で利用する場合にも利用ができるよう，配慮すること ・マイクパッチ，スピーカー，照明調光については，分割利用時にそれぞれの部屋で利用できるようにすること	2	450	5.0	C	KT	DR	EP	—	500	○	○	○	○	提案	提案	提案	
共用エリア	1	１階来場者用 トイレ	施設来場者利用	・来場者の動線に配慮すること ・ホワイエ・展示室からそれぞれ直接利用可能な位置に設けること （利用者の一斉利用を考慮し，２か所に分散することが望ましい） ・トイレ出入口付近には，音声・点字による案内表示板を設けること ・利用者数、観客数等を考慮した便器数・配置とすること （１階来場者用の合計として，小便器２０据以上，男性大便器２０据以上，女性大便器５０据以上とする） ・男女トイレ内には各１か所ずつベビーベッドを設けること ・子ども用便座も適宜設置する等，子どもの利用に配慮すること ・その他高齢者，子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること ・手洗いは自動水栓とすること ・小便器は個別自動洗浄小便器、大便器は洋式便器とすること ・洋式便座には擬音装置を備えた温水洗浄装置を設けること ・女性トイレにはパウダーコーナーを設けること ・便座クリーナー用ディスペンサーを設けること ・エアータオルを設けること ・ブース内にはバッグ等を置くための棚を設け，小便器間やブース扉にはフックを設けること	—	提案	2.6	C	VS	DR	提案	—	200	—	—	—	—	○	○	—	
	2	２階来場者用 トイレ	施設来場者利用 （主に会議室利用者）	・主に２階会議室利用者用として設け，利用者数を考慮した便器数・配置とすること ・手洗いは自動水栓とすること ・小便器は個別自動洗浄小便器、大便器は洋式便器とすること ・洋式便座には擬音装置を備えた温水洗浄装置を設けること ・女性トイレにはパウダーコーナーを設けること ・便座クリーナー用ディスペンサーを設けること ・エアータオルを設けること ・ブース内にはバッグ等を置くための棚を設け，小便器間やブース扉にはフックを設けること ・その他高齢者，子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること	—	提案	2.6	C	VS	DR	提案	—	200	—	—	—	—	○	○	—	
	1	多目的 トイレ	主に施設来場者利用	・利用者を考慮した位置に設けること ・手洗いは自動水栓とすること ・洋式便座には擬音装置を備えた温水洗浄装置を設けること ・オストメイトに対応した設備を設けること ・シャワー金具はサーモスタット付きとすること ・音声情報案内装置（４か国語対応）を設けること。 ・ベビーベッドを設けること ・エアータオルを設けること ・その他高齢者，子ども連れ及び障がい者に配慮した設備を設けること	—	提案	2.6	C	VS	DR	提案	—	200	—	—	—	—	○	○	—	

諸室仕様リスト

部　門	階	室　名	室の使い方等	特記事項	室数	面積㎡/室程度	天井高（m）以上	建築					電気				機械				備考
								床下地	床仕上	天井仕上	壁仕上	流台	照度LX	電話	TV	LAN	空調	給水	給湯	洗面台	
共用エリア	1	主催者用トイレ	主催者スタッフ及びサポートメンバースタッフ利用（施工・運営会社等）	・必要な便器数を確保すること ・手洗いは自動水栓とすること ・小便器は個別自動洗浄小便器、大便器は洋式便器とすること ・洋式便座には擬音装置を備えた温水洗浄装置を設けること ・便座クリーナー用ディスペンサーを設けること ・エアータオルを設けること ・ブース内にはバッグ等を置くための棚を設け，小便器間やブース扉にはフックを設けること	—	提案	2.6	C	VS	DR	提案	—	200	—	—	—	—	○	○	—	
	1	授乳室		・調乳用シンク，ベビーベット等の必要な設備を設けること	1	提案	2.6	C	VS	DR	提案	提案	200	—	—	—	○	○	提案	—	
管理エリア	1	防災センター	保守管理・警備業務従事者利用	・搬出入口に近接して配置すること ・館内への入館・退館時の通用口を１か所設けること ・室内にスタッフ用のトイレを設けること	1	140	2.6	OA	VT	DR	EP	○	500	○	○	○	○	○	○	提案	
	1	仮眠室	保守管理・警備業務従事者利用	・休養室を兼ねるため，防災センター付近に設けること	1	20	2.6	C	VS	DR	EP	○	200	○	○	○	○	○	○	提案	
	1	清掃員控室	清掃スタッフ利用	・室内にスタッフ用のトイレ・シャワーを設けること	1	25		C	VS	DR	EP	○	500	○	提案	提案	○	○	○	提案	
	1	消防・警察控室	通常は控室として利用	・室内に液晶テレビモニター（※２）を設けること	1	提案	2.6	C	VS	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	○	○	提案	
	1	救護室	施設内でのけが人・急病人等の応急処置の場所	・救急車両の動線を考慮しつつ，来場者動線と交錯しないよう配慮すること ・屋外への出入口を設けること ・室内に液晶テレビモニター（※２）を設けること	提案	提案	2.6	C	VS	DR	EP	提案	500	○	○	○	○	○	○	○	
	1	１階備品倉庫		・搬出入口付近に配置すること ・扉は引き戸とし，展示室から直接搬入可能とすること	2	200	5.0	C	VT	GB-D	EP	提案	200	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
	2	２階備品倉庫		・主に会議室の備品を保管する	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	200	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
	1	自動販売機コーナー		・１階４ヶ所（展示室内は不可）、搬入ヤード２ヶ所（２階は不要）程度のスペースを確保すること	6	—	提案	提案	提案	提案	提案	—	300	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
その他	1	搬入ヤードまたは搬出入口		・東西面に各２か所設けること(出入口はW5000,Ｈ4500以上とすること) ・南面に２か所設けること（出入口はW4000，Ｈ3000以上とすること） ・２か所以上は備品倉庫に隣接した位置に設けること ・出入口とは別途に通線溝（ケーブル，配管等用）を設けること ・外部には庇を設けるなど，搬出入の際の雨避け等に配慮すること ・東西面の搬入搬出口は引き戸とし，南面の搬入搬出口はシャッターとすること	—	提案	提案	C	防塵塗料（※１）	提案	提案	—	300	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
	1	その他諸室		・施設利用者が使用できる給湯室を控室に近接した場所に設けること ・職員更衣室や管理用倉庫等、必要と思われる諸室は適宜設けること	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
	2	機械室，電気室，発電機室		・塩害対策を行うことで建物屋上の設置も可能とする	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	300	提案	提案	提案	提案	提案	提案	提案	
合計					10,000㎡以上																

＜仕上げ凡例＞
・床下地　C：コンクリートコテ押え、OA：OAフロアーH=100
・床仕上げ　KT:カーペットタイル（ナイロン）、TC：タイルカーペット、VS：長尺塩ビシート、VT：ビニルタイル
・天井仕上げ　DR:岩綿吸音板、GD-B：化粧石膏ボード
・壁仕上げ　EP：エマルジョンペイント、CC：布クロス

＜共通事項＞
・上記欄内が空白部は提案とする
・内外問わず、窓には全てカーテンもしくはブラインドもしくはロールスクリーンを設けること。
・記載のない床荷重については必要な床荷重を設定すること。

※１　展示室の床仕上げは，特殊合金骨材表面硬化仕上材（マリンメッセ福岡と同等品以上）とすること
※２　液晶テレビモニターは，施設内外に設置している防犯カメラのうち，主要な箇所の映像を見ることができるようにすること